令和３年度　学校だより

# 緑　柏

長崎県立佐世保南高等学校

No.１９０
令和　３年　　６月　３０日発行
発行責任者　堤　　敏　博

校長室の窓から

## 「 高総体を終え新たなステージへ 」

「想いを、夢をぶつけろ！待望のこの舞台で今」を大会スローガンとした令和３年度長崎県高等学校総合体育大会が、６月初旬開催されました。昨年はコロナ禍の影響で中止でしたので、２年ぶりの開催です。無観客での開催になりましたが、６月５日から８日までの４日間、私は学校を代表して多くの会場を回ることができました。各会場では、勝利を目指し結束して相手に挑む各チームの姿や、己の持てる力を精一杯発揮しようと奮闘し、最後の１分１秒まであきらめない姿、そして、試合後の歓喜の笑顔や悔し涙を目にし、強く心を動かされました。南高生一人ひとりの選手のがんばりはもちろん賞賛に値するものでしたが、選手以外でも懸命に応援してくれた運動部の生徒たち、また、取材にあたった写真部、放送部の皆さん、学校で自習をしながらも応援をしてくれた生徒たち、そして、陰になり日向になり支えてくださった保護者の皆さまや地域の方々など、多くの方々のおかげで素晴らしい高総体となりました。本当にありがとうございました。

高総体に臨む壮行式では、今年３月にお亡くなりになった柔道のオリンピック金メダリスト　古賀稔彦さんに関する長崎新聞の記事を引用し、「最後まであきらめない姿勢」について話をしました。ちなみに、その記事は次のような内容でした。

***「バルセロナオリンピック直前、現地で吉田秀彦選手との練習中に左膝を負傷。実践的な乱取りで最後の一本だった。全治一ヶ月以上の重傷で出場さえ危ぶまれる中、『平成の三四郎』は奮い立つ。『人生はあきらめたらすべて終わりだから』と後に打ち明けた。試合当日は５本の痛み止め注射を午前と午後に２度も打った。準決勝では痛む左足を軸にし、魂のすべてをぶつけるような一本背負い投げで一本勝ち。旗判定で制した決勝後、畳の上で全身を震わせる姿はまぶしかった。」***

この高総体で選手たちは「最後まであきらめない姿勢」を貫き、集中力を研ぎ澄まし、個の意欲とチームの和を高い次元で確立し、本番で最大限の力が発揮できるよう努力してくれました。たとえ負けても、その過程において多くのものを得ることができたと思います。そして、確実に成長したと確信しています。

さて、高総体が終わり、１、２年生は次年度に向けた新たなチームづくりに、３年生は自らの進路を決定する大切な準備期間に入りました。この節目の時期に大事なことは「切り替えて次の目標に向かって努力すること」です。さらに、努力する際に頭に置いて欲しいのは、「ひと工夫加えること」「これまでをそのまま踏襲しないこと」です。従来からのやり方を守るだけでなく、新しい方策について考えることが大事だと思うのです。失敗することもあるかもしれませんが、新たなプレーや練習方法、学習方法の改善に挑戦することが現状打破につながり、今の自分を前に進めてくれます。

人類の歩みには、現在に至るまでに４つの大きな段階があったとされています。まず初めに狩猟時代、次に農耕時代、続いて工業化の時代、そして、情報化社会です。私たち人類の大きな課題は、現代の情報化社会に続く社会の在り方をどのように作り出していくのかという問題です。時代が異なれば、求められる能力も変わります。狩猟社会なら獣を捕まえる技術や体力が物を言うし、産業革命後の工業社会ならば化学反応や機械の仕組みなどの知識が必要でしょう。では、「Ｓｏｃｉｅｔｙ　５.０」と言われるこれからの社会に必要な技能は何なのでしょうか。コンピュータを使いこなす技術があればいいのでしょうか。それを動かしているプログラミングの知識も必要なのでしょうか。あるいはもっと別の知識が必要なのでしょうか。もしかしたらはっきりとした答えはないのかもしれません。ただ、このような答えのない問題に取り組み自分なりの答えを考え出していく過程そのものが重要であることは間違いないと思います。また、本校では、この答えのない社会的課題の学びに特化した「探究学習」に注力しています。

# 令和3年度　高校総体

「想いを、夢をぶつけろ！待望のこの舞台で今」のスローガンのもと、２年ぶりに長崎県高等学校総合体育大会が開催され、６月４日（金）～６月１１日（金）の期間、県内各地の競技場で熱い戦いが繰り広げられました。今年度は、コロナ禍の影響により部活動の活動時間や活動内容が制限されたり、６月４日（金）に実施される予定だった総合開会式が中止になったりするなど、様々な面で高総体に向けた準備に不安がないとはいえない状態でした。しかし、昨年開催されなかった悔しさや先輩たちの想いをぶつけるように、選手たちは待望の舞台で持てる力を存分に発揮してくれました。また、６月８日（火）には男子バレーボール部の全校応援がリモートで実施され、南高一丸となって熱戦を後押ししました。

結果は、団体種目では男子バレーボール部が準優勝という成績を収めました。個人種目では、水泳競技の男子２００Ｍ個人メドレー・男子１５００Ｍ自由形の２種目で吉村和真くんが第１位、同じく男子１５００Ｍ自由形で中原脩久くんが第２位、２００Ｍバタフライで関銀士くんが第３位、女子１００Ｍ個人自由形で井石瑠七さんが第３位という成績を収めました。また、少林寺拳法の単独演武の部で種本依織くんが第１位を勝ち取り、インターハイ・九州大会への出場権を獲得するなど、複数の種目で好成績を収めました。インターハイ・九州大会に出場する選手たちの健闘を祈ります。

●バレーボール（男）
　準優勝　（九州大会出場）→ 中止
●水泳　（男）
　第３位 男子総合
　第１位 200M　個人メドレー
　　　吉村　和真（九州大会出場）
　第１位 1500M　個人自由形
　　　吉村　和真（大会新・九州大会出場）
　第２位 1500M個人自由形
　　　中原　脩久（九州大会出場）
　第３位 200Mバタフライ
　　　関　銀士（九州大会出場）
　第２位 4×200Mメドレーリレー
　　　中原・関・戸上・吉村
　第３位　4×100Mメドレーリレー
　　　戸上・吉村・関・中原
　第３位　100M個人自由形
　　　井石　瑠七（九州大会出場）
●少林寺拳法（男）
　第１位　単独演武の部（自由）
　　　種本　依織　（インターハイ・九州大会出場）

# 美化コンクール

年に２回、美化意識の向上と勉強しやすい環境をつくることを目的として行われている美化コンクール。今年の第１回目が６月１４日（月）、１５日（火）、１７日（木）、１８日（金）の４日間で実施されました。

生活美化委員が考えたテーマ「生徒でつくり上げる快適な学校環境」のもと、各クラスの美化委員が中心となり、積極的に清掃に取り組み、総合優勝は３年２組と２年３組でした。

第２回は１１月に行われる予定ですが、全生徒が日ごろから校内美化を心がけ、コンクール不要論がでるくらいなっていけばと思います。

左は今回の学年別成績です。

**【総合優勝】3年2組と2年3組**

| | １年生の部 | ２年生の部 | ３年生の部 |
|---|---|---|---|
| 優勝 | ２組 | ３組 | ２組 |
| ２位 | １組 | ４組 | ５組 |

# 2023年、春
# 「文理探究科（仮称）」新設

今月上旬、長崎県教育委員会より佐南にとって、とても大きな発表がありました。２０２３年の新入生からこの高校に新しい学科が創設されます。その学科は「文理探究科」。ふるさと長崎をリードする優秀な人材の育成に特化した学科と位置付けられています。学科の詳細については今後、ホームページやチラシなどを通してお知らせしていきますので、ご期待ください。

その他詳細は順次
本校HPにて公開していきます。
右のQRコードでWEB版にアクセス

# 総合的な探究の時間（「サザンタイム」）

６月17日（木）の総合的な探究の時間（「サザンタイム」）に、１年生を対象に社会で活躍されている方の話を聞く「サザンフォーラム」を実施しました。今回は、東京でファッション関係の仕事をされている諸岡拓朗氏に講演をしていただきました。生徒たちは、「自分の人生は受動的でなく、能動的に過ごすことが大切である」や「本気で自分と向き合いやりたいことを見つけていく」などの感想を述べていました。今回は初めてのリモートでの開催でした。７月にも３回「サザンフォーラム」を開催する予定です。自分自身や将来の進路について考え、また視野を広げる一助となればと考えています。

<感想文の一部抜粋>

1年1組

今回の講義を受けて、自分の人生は受動的ではなく、能動的に過ごすことが大切だとわかりました。今の自分はまだ自分から積極的に行動することがあまりできていないので、これからは能動的に行動していきたいです。また次の道を広げるように今たくさん勉強しておくことが大切だと思いました。自分はまだ、将来、何になるか決まっていないけれどしっかり勉強し、時代の変化についていけるように、頑張りたいです。

２年２組

私は講演を受けて、今までの考え方と違った考え方を持つことができたと思いました。「他人の意見はゴミ」と言う考え方を持っていませんでした。確かに、今思えば何事も友人や親の意見でしか判断できない流された人生を送ってきました。全て親が正しく、そして「まぁどうにかなるだろう」と言うフワフワした考えで、生きてきました。でも、もっと自分に自信持ってもいいし、もっと自分の意見を軸として、他人の話を聞くことが大切だということがわかりました。そして、もっと違う景色をこれからたくさん見ていきたいと思いました。まだまだ何にでもなれる可能性は無限に広がっているし、やることもいっぱいあるので、一つ一つの経験を大切にしていきながら生きていきたいと思います。

# 第一学期　生徒総会

５月１９日（水）、前期定例生徒総会が校内放送で実施されました。

議案は「前期生徒会活動の活動方針案の報告」「令和２年度生徒会費決算報告および令和３年度生徒会費予算案審議」で、生徒会役員の入念な準備のおかげで会は滞りなく進行し、全ての議案が承認されました。今年度も新生徒会役員が様々なことに挑戦します。皆様のご協力をお願いします。

# 薬物乱用防止教室

６月１６日(水)に「薬物乱用防止教室」を実施しました。長崎県警察スクールサポーターの高田明夫様を講師に迎え、コロナ対策のため全校生徒を２グループに分けての開催となりました。近年の違法薬物の実態と誘われたときの断り方などについて、スライドや映像を基に具体的な説明をしていただきました。生徒はこの学習を通して、若者の間に薬物が広がっていることを再認識し、「薬物の誘いには絶対に乗らない」という意志を強くしたようです。

## 7月行事予定

７月　３日（土）Sプロ（全学年）
１０日（土）対外実力（１・２年）
１０日（土）～１１日（日）対外模試（３年）
１２日（月）～１６日（金）三者面談（３年）
１７日（土）Sプロ（３年）
１９日（月）校内大会
２０日（火）第１学期終業式
２１日（水）～２９日（木）三者面談（１・２年）
２２日（木）Sプロ（全学年）
２３日（金）Sプロ（全学年）
３０日（金）第１回 オープンスクール

※コロナウイルス感染拡大防止のため
急に変更になる場合がございます。